

第6節 地球環境

地球温暖化防止やオゾン層の保護、酸性雨の防止等の地球環境保全は、市民からの行動、地域からの行動が基本です。そのため日常生活や事業活動を見直すことから環境への負荷の低減に取り組み、その行動の輪を広げていきます。

1 奈良市地球温暖化対策庁内実行計画

奈良市の事務及び事業に関し、市職員自らが温室効果ガス排出の抑制を実施し、地球温暖化防止のための措置を図り、温室効果ガスの削減達成のための奈良市地球温暖化対策庁内実行計画を平成15年3月に策定しました。

奈良市の全職員が、日常から環境に配慮した取り組みを実行するための行動計画としており、ISO14001 環境マネジメントシステムの考えに基づくPDCAサイクルにより、環境の継続的な改善に努めます。

計画では、平成15年度から平成19年度の5年間に、平成13年度を基準年度として、温室効果ガスを4.8%削減することを目標としています。



2 酸性雨調査

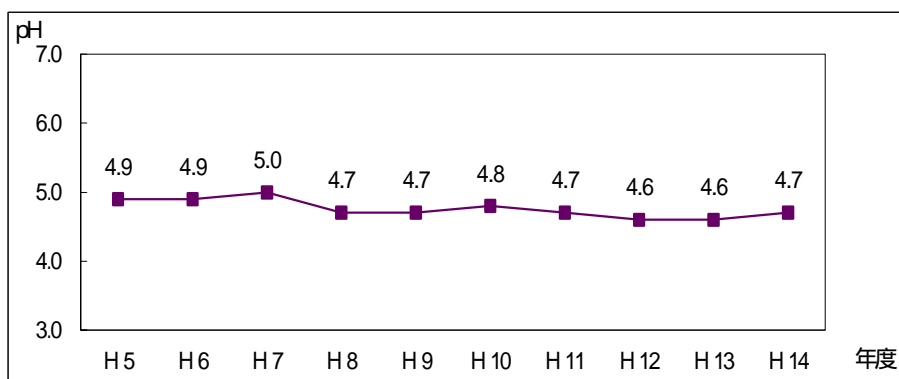
酸性雨とは、主として化石燃料の燃焼により生ずる硫酸化物や窒素酸化物などの酸性雨原因物質から生成した硫酸や硝酸が溶解した酸性の強い(pH5.6以下のもの)雨、霧、雪(「湿性沈着」という)や、晴れた日でも風に乗って沈着する粒子状(エアロゾル)あるいはガス状の酸(合わせて「乾性沈着」という)を合わせたものをいいます。湖沼・土壌・森林等が酸性化し、魚類・樹木・文化財等に衰退や崩壊を助長するなどの影響を及ぼす広域的な現象です。その対策等については、国際的な取り組みが必要とされています。

平成14年度環境検査センターで測定した結果は、年間平均値がpH4.7でありました。

酸性雨ろ過式採取装置法

採取装置で1週間連続して降雨とばいじんを採取し、ろ過した雨水についてpH、EC、及び各イオン成分等をイオンクロマトグラフ等で分析します。

(図-2, 34)酸性雨の経年変化



3 低公害車の導入

大気汚染を少しでも低減するために平成 5 年 8 月に電気自動車を購入し、「地球号」の名称で各種イベント、ポイ捨て防止啓発などに使用しています。

また、平成 13, 14 年度にハイブリッドカーを 4 台導入するなど、できる限り低排出ガス車を導入しています。

4 ならマイカーひとやすみデー

本市では、自動車社会の急速な進展に伴う自動車交通公害の解決に向けて、平成 5 年度から「環境にやさしい自動車利用運動」を提唱しています。

特に毎月 20 日を「ならマイカーひとやすみデー」と定め、鉄道などの大量輸送機関の利用通勤における相乗りの奨励 歩いて行ける場所への自動車利用の自粛等の運動を提唱し、うるおいのある安全で快適な社会を目指しています。

5 奈良市アイドリング・ストップに関する条例

自動車からの排気ガスは、大気汚染・地球温暖化の原因となり、歴史的文化遺産や自然環境への影響も懸念されています。

そこで、世界遺産周辺をアイドリング・ストップ促進重点区域に指定し、この区域での駐車時の不必要なエンジンの稼働を停止することにより、少しでも自動車の排気ガスを減らし、市民の生活環境及び文化財を保全する目的で、「奈良市アイドリング・ストップに関する条例」を平成 12 年 4 月に施行しました。

また、これらの区域でのアイドリング・ストップを実践してもらうために、春日大社・唐招提寺・薬師寺の駐車場に乗務員休憩所を設置しています。



6 アイドリング・ストップ宣言キャンペーン

自動車の駐車時における不必要なエンジンの稼働の停止は、大気汚染防止、地球温暖化防止、貴重な文化財の保護にもつながります。そこで、各種イベントの際には、アイドリング・ストップ等環境にやさしい取り組みの宣言書の受付を行っています。

7 パークアンドバスライド・サイクルライド

春・秋の観光シーズンには、東大寺、興福寺等奈良公園周辺の道路は交通渋滞が発生しています。交通渋滞緩和及び環境保全対策の一つとして、同時季の日曜日・祝日に市役所の駐車場を開放して、パークアンドバスライド・サイクルライドを行っています。



8 オムニバスタウン

平成 12 年 12 月 26 日に国（運輸省・建設省・警察庁）より「オムニバスタウン」として、近畿地方で最初の指定を受けました。

オムニバスタウン計画に基づいて「人・まち・環境にやさしい」バスの社会的意義を最大限に発揮した「まちづくり」を推進することによって、市内の交通渋滞・大気汚染・騒音など交通に起因する

環境負荷から、世界遺産をはじめとする数多くの文化財や豊かな自然を守るとともに、全ての人が安全で快適に利用しやすい交通環境をめざします。

9 市民環境講座

次のテーマで市民環境講座を実施し、延べ 320 名の参加がありました。

| | |
|-------|---|
| 第 1 回 | (平成 14 年 9 月 26 日) 奈良女子大学記念館 テーマ「熱帯雨林と地球環境」 講師：奈良女子大学 古川 昭雄 教授 |
| 第 2 回 | (平成 14 年 10 月 18 日) 高畑町付近 テーマ「リバーウォッチング in 能登川」 講師：奈良商業高等学校 谷 幸三 教諭 |
| 第 3 回 | (平成 14 年 11 月 16 日) 西部公民館 テーマ「身近な環境問題とグリーンコンシューマー（地球にやさしい生活って?）」 講師：環境カウンセラーズなら 阿藤 崇浩 氏 |
| 第 4 回 | (平成 14 年 12 月 5 日) 中央公民館 テーマ「左保の桜・竜田の紅葉」 講師：天理大学 近江 昌司 教授 |
| 第 5 回 | (平成 15 年 1 月 23 日) 郡山浄化センター テーマ「下水処理のしくみ」 講師：(財)県下水道公社浄化センター 植本 寛典 水質係長 |
| 第 6 回 | (平成 15 年 2 月 13 日) なら 100 年会館 テーマ「地球温暖化のしくみと問題」 講師：奈良地方気象台 原 達也 台長 |